

4 輸送障害に関する事項

4.1 輸送障害件数(推移)

(1) 輸送障害件数の推移

○平成 18 年度では、4,421 件が報告され、その内容は線路内支障、車両故障などでした。
(対前年度比 780 件(15.0%)減)

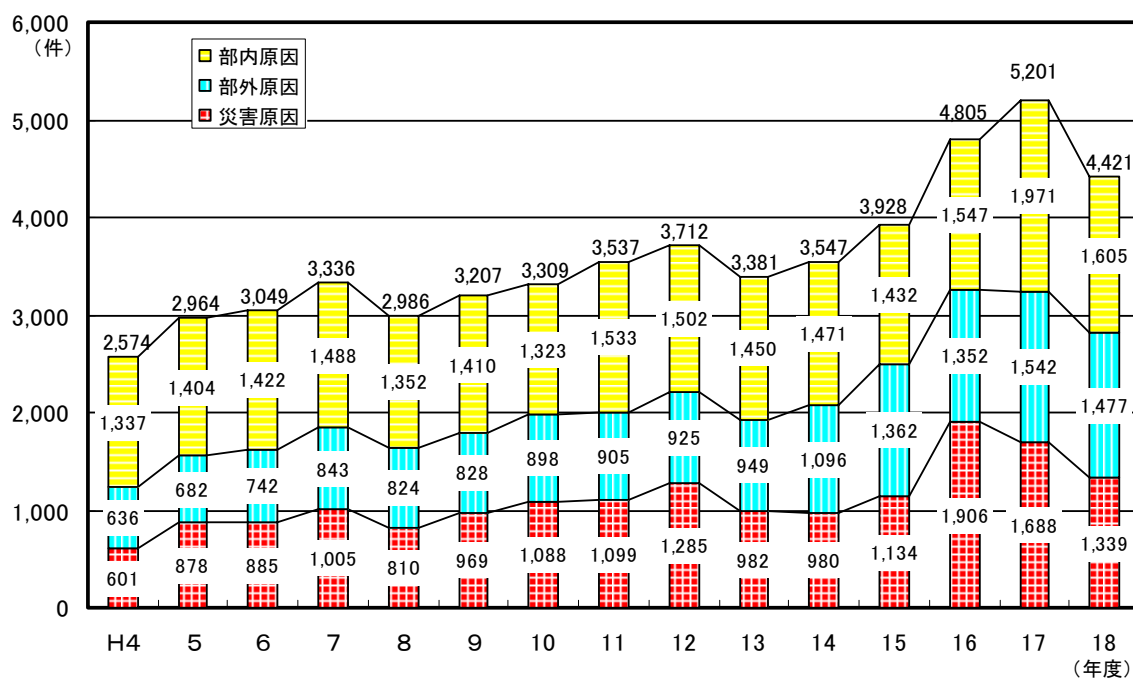
○輸送障害(列車の運休、又は旅客列車の場合は 30 分以上の遅延が発生したもの)の件数は、長期的には増加傾向にあります。近年では、年間約 5,000 件の輸送障害が発生しています。

○輸送障害件数の約 1/3 は部内原因であり、鉄道事業者による安全・安定輸送対策の推進が求められますが、災害を原因とする輸送障害も約 1/3 あり、地震や風水害などの災害対策も重要です。

○また、部外原因による輸送障害が約 1/3 あり、輸送の安定した輸送サービスの確保のためには利用者や沿線の方々の協力が不可欠です。

○部外原因のうち、自殺による輸送障害は 534 件(対前年度比 9 件(1.7%)減)でした。

① JR(在来線+新幹線)と民鉄(鉄道+軌道)の合計

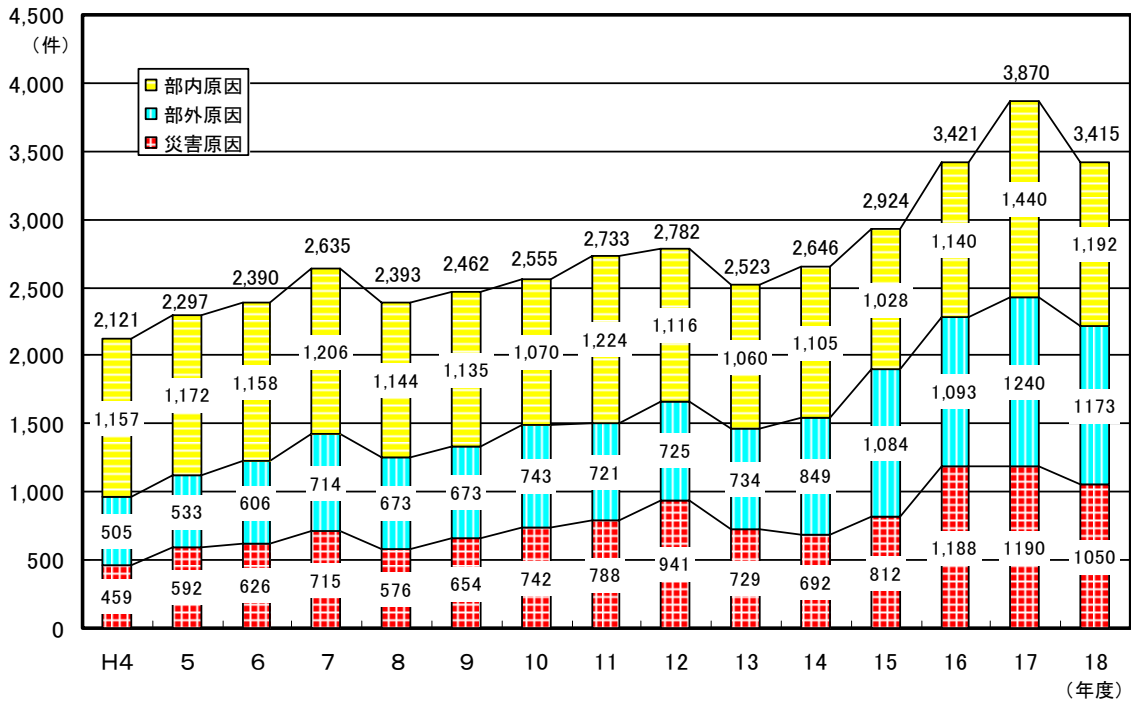


部内原因: 鉄道係員の取扱い誤り、車両や鉄道施設の故障等によるもの。

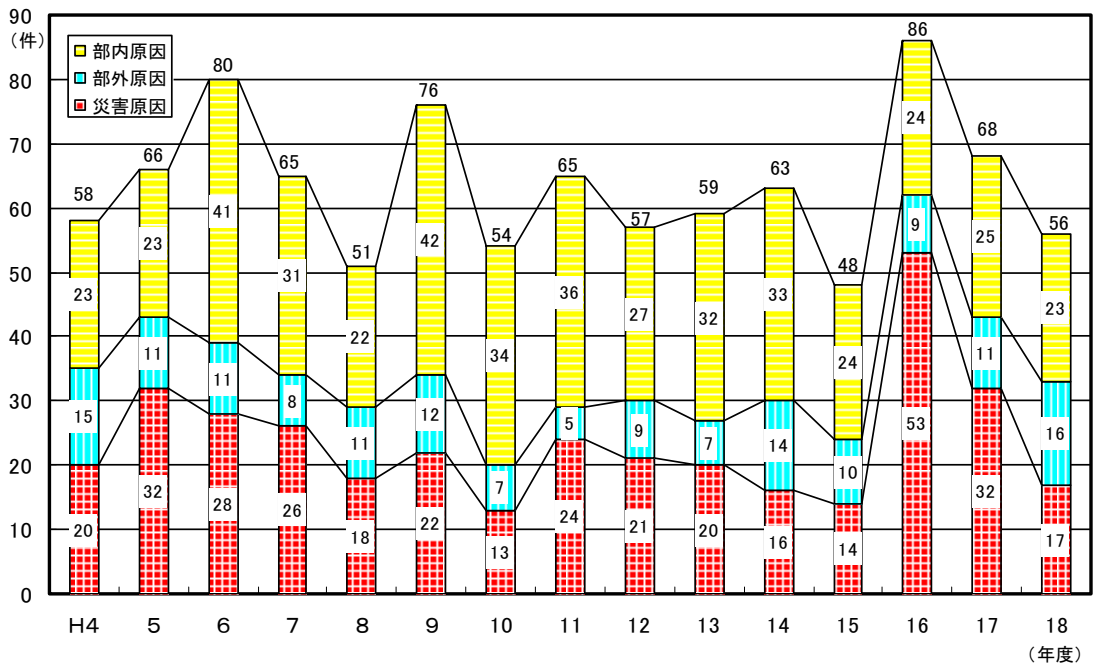
部外原因: 旅客のホームからの転落や公衆の線路内立入り等によるもの。

災害原因: 地震災害や風雪水害等によるもの。(雨量や風速が基準を超えた場合の運転見合わせ等を含む。)

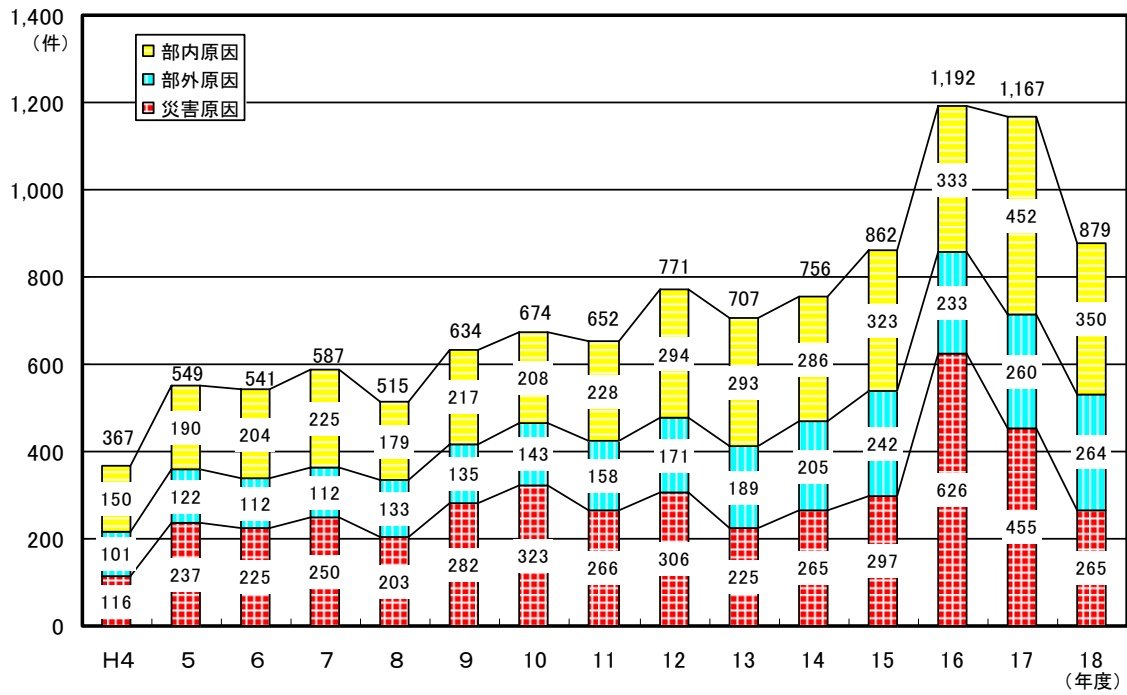
② JR(在来線)



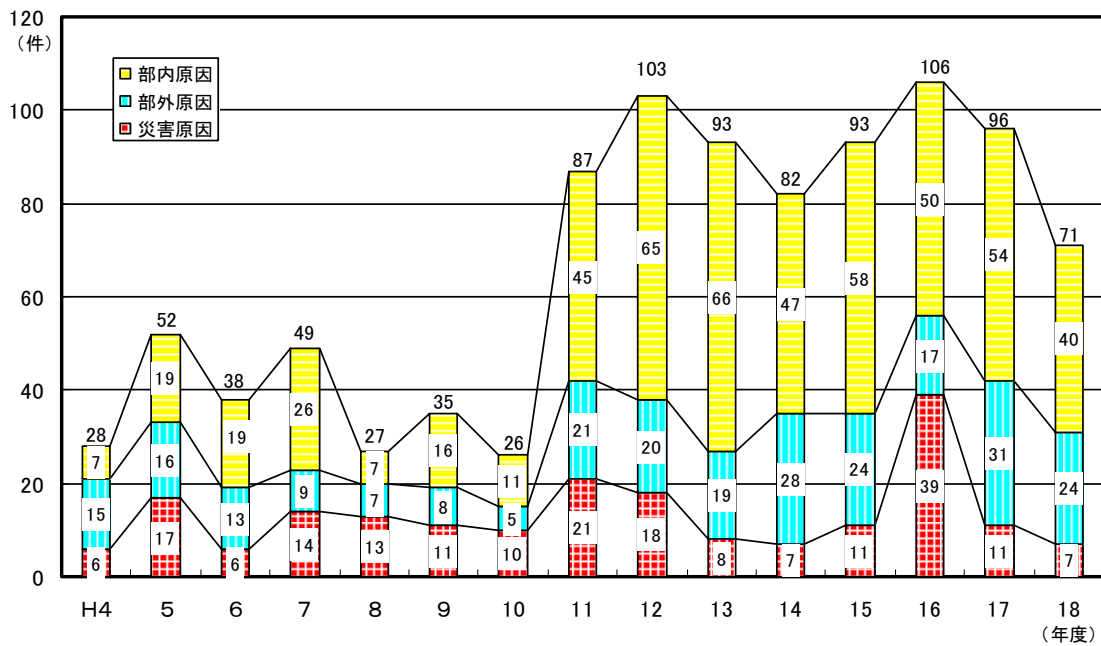
③ JR(新幹線)



④ 民鉄(鉄道)



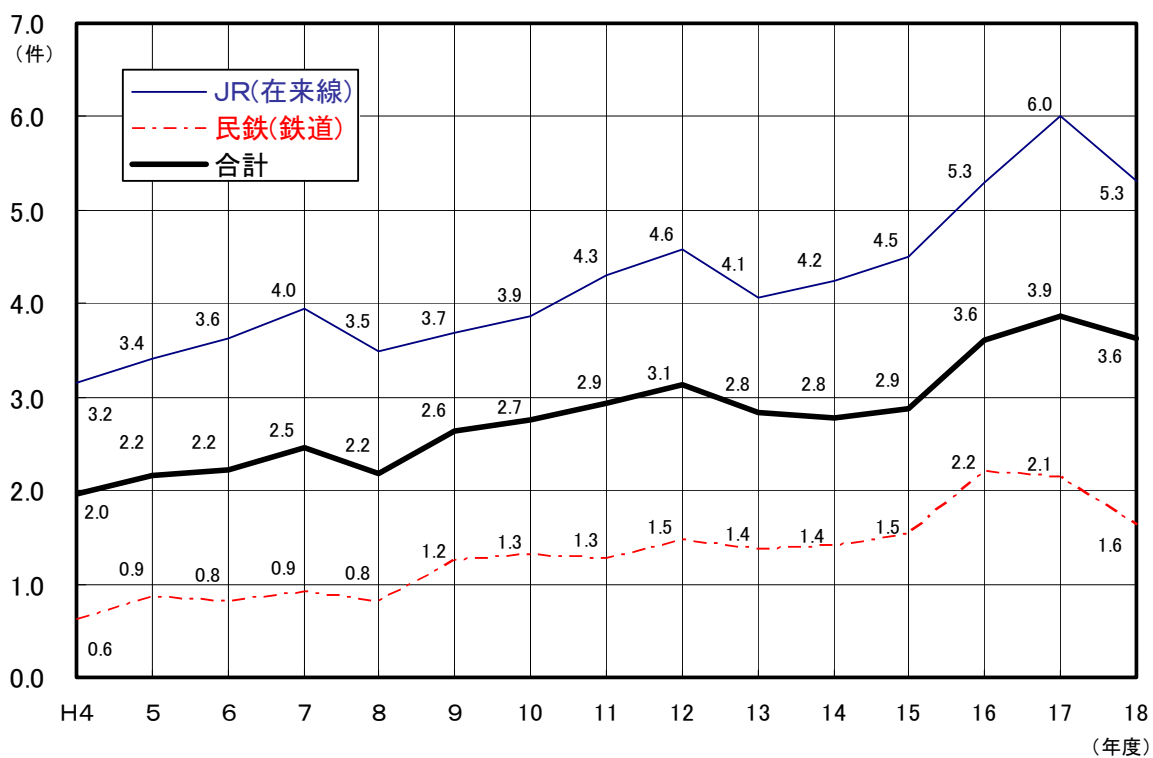
⑤ 民鉄(軌道)



(2) 列車走行百万キロ当たり輸送障害件数の推移

○平成 18 年度は、列車走行百万キロ当たりの発生件数 3.6 件でした。

○列車走行百万キロ走行当たりの輸送障害件数は、長期的には増加傾向にあります。



4. 2 事業者区分別輸送障害件数

○事業者区分別の輸送障害件数は次のとおりです¹³。

原因 事業者区分	部 内				部 外			合計	列車百万 当たり件数	列車走行 和 (百万キロ)
	鉄道 係員	車両	鉄道 施設	小計	列車百万 当たり件数	鉄道外	自然 災害			
J R (在来線)	160	743	289	1192	1.85	1173	1050	3415	5.31	642.78
J R (新幹線)	3	14	6	23	0.17	16	17	56	0.42	134.51
大手民鉄	16	61	22	99	0.31	149	26	274	0.86	319.76
公営地下鉄等	9	14	16	39	0.39	44	2	85	0.86	98.88
新交通・モノレール	3	14	6	23	1.15	8	7	38	1.90	19.98
中小民鉄	11	127	60	198	1.91	64	231	493	4.75	103.88
路面電車		29	2	31	1.27	23	6	60	2.45	24.46
合計	202	1002	401	1605	1.19	1477	1339	4421	3.29	1344.26

(平成 18 年度)

¹³ 事業者別の輸送障害件数の詳細を資料2に掲載しています。